

# 温暖化防止ながれやま便り

第 11号 2014 年 1月特別号

NPO 温暖化防止ながれやま  
代表 春田 育男  
流山市美田 69-57  
編集 石垣 幸子

## 平成 25 年度地球温暖化防止活動環境大臣賞を受賞



受賞標章（写真上）

受賞した表彰状と盾  
（写真左）

平成25年12月4日、KKRホテル東京「孔雀の間」において、石原環境大臣から「平成25年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」の表彰状と盾を授与されました。

この表彰は、平成10年から環境省が地球温暖化防止月間である12月に地球温暖化防止に顕著な功績があった個人又は団体に対し、その功績をたたえるために毎年行っているものです。

対象部門は、「技術開発・製品化部門」「対策技術先進導入部門」「対策活動実践・普及部門」「環境教育活動部門」「国際貢献部門」の5つの部門があります。

当会が受賞したのは「対策活動実践・普及部門」で、地球温暖化防止に資するライフスタイル実践・普及活動、地域における効果的な節電に関する実践・普及活動、地球温暖化を防止する活動の実践・普及等継続的な取組に関する功績として評価されました。

### 環境大臣表彰の受賞について

温暖化防止ながれやま

代表 春田育男



当会は、このたび環境省から「平成25年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞する栄に浴しました。これは当会発足以来12年間にわたる活動を、地域の皆様、各団体の皆様方にご支援頂いた賜物と深く感謝申し上げます。地球温暖化に向けた取組が世界各国で進展する中、当会はこれからも、地域に根ざした「低炭素なまちづくり」に取組んでまいります。

何卒、変わらぬご支援をお願い申し上げます。



## 環境大臣表彰受賞に寄せて 祝辞



流山市長 井崎 義治

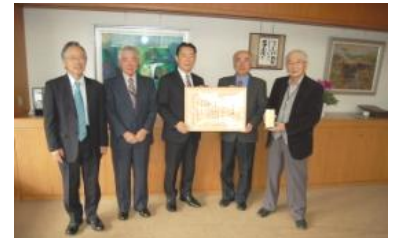
このたびは「平成 25 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」の受賞おめでとうございます。

平成 14 年の設立から 12 年間にわたる皆様の地域に根付いた活動が、このような名誉な賞の受賞となりましたことを誠に嬉しく思います。また、平素より市政へのご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

温暖化防止ながれやまが設立された平成 14 年は、いわゆるバブル崩壊後の「失われた 10 年」と言われる時期の終盤にあたります。報道などでは経済不況が主な話題となっており、地球温暖化については現在ほど一般の方々の知識も理解も希薄だった時期と記憶しています。そのような中、皆様はいち早く地球温暖化の問題を認識するとともに、地球温暖化防止や省エネについての研究や学習会、市民向けの公開講座などを展開し、今でこそ広く認知されている「持続可能な社会」の実現に向けて、奮闘を続けてきたことに深く敬意を表します。

平成 25 年度は日本やフィリピンで発生した大型の台風や、埼玉県・千葉県で発生した竜巻など、地球温暖化の影響が疑われる異常気象も多発し、市民の皆様の地球温暖化への関心も今まで以上に大きくなっていることと思われま。地球温暖化や環境の問題は、周知・啓発が難しい問題ではありますが、子どもたちの世代へ豊かな流山の自然と環境を伝えるため、皆様の継続した活動と、市政への引き続きのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴団体のますますのご発展と、皆様方のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



### 広げよう「エコの輪と地域の和」を！

千葉県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 山口幸一



受賞おめでとうございます。

温暖化防止ながれやま様は、千葉県地球温暖化防止活動推進員(注)が中心となって活動している団体

で、千葉県における地球温暖化防止活動の草分けとして他の団体の模範となり、行政と共に実践的活動をしてきました。特に、コミュニティバス運行に伴う CO<sub>2</sub> 削減効果や、グリーンカーテンによる温暖化防止効果などを「見える化」し、成果をわかりやすく伝えることにより、多くの市民を巻き込んできたことがこの表彰に繋がったことと思います。

これからも「エコの輪と地域の和」がますます大きく広がっていくことを祈念します。

### 継続は力なり！

流山市民活動推進センター

センター長 木村正夫



環境大臣賞、受賞おめでとうございます。

昨冬に団体設立 10 周年を迎えられ、今日の栄誉を受けるまでの活動過程は、並々ならぬご努力があったものと推察いたします。

その中で、初志貫徹、ブレルことなく切磋琢磨されている姿を垣間見るにつけ、皆様の真摯な取り組みに感動しておりました。

継続は力なりを実践している団体です。ぜひこれからも、より一層の活動を望み、お祝いのメッセージとさせていただきます。

(注) 千葉県地球温暖化防止活動推進員とは；

地球温暖化の現状や対策を広く普及・推進する役割を担う。法律(温対法第 23 条)に基づき、

千葉県知事が委嘱する。平成 25 年 4 月 1 日現在、330 名に委嘱。

(千葉県HPより抜粋)



# 「環境大臣表彰」受賞までの歩み

＜平成14年9月＞

本会は、千葉県地球温暖化防止活動推進員の第1期生5人によって発足した。(現会員は30名)

＜平成15年6月＞



環境展に初出展した。文化会館前で、子供たちに人力発電を使って。電気の大切さを体験してもらう。

(第10回流山市環境デーにて)

＜平成16年10月＞



独自で環境講座を開催した。テーマは「温暖化とは 今、私たちにできることは」とし、「待機電力について」講演した。

(初石公民館にて)

＜平成17年3月＞



独自で出前環境講座を開催した。テーマは「わたくしたちの出来ることは？」とし、2名の会員が講演した。

(前ヶ崎自治会館にて)

＜平成17年6月＞



測定器を使ってCO<sub>2</sub>濃度を調査した。日の当たらない森の中は光合成が弱く、CO<sub>2</sub>濃度が高い。森の中に光を採り込む重要性を訴えた。

(新川耕地にて)

＜平成18年4月＞



CO<sub>2</sub>ダイエット宣言の記念植樹をした。多くの市民の方々に、「CO<sub>2</sub>ダイエット宣言」を呼びかけた。

(流山おおたかの森駅南口にて)

＜平成19年5月＞



植樹会を実施した。CO<sub>2</sub>削減運動として団地の方々と植樹を行った。

(前ヶ崎自治会にて)

＜平成21年8月＞



CO<sub>2</sub>削減量の環境調査を実施した。緑カーテンの削減効果、自家用車からグリーンバスに乗換える削減効果、環境家計簿の分析などを、自治会・大学・企業・行政の協力を得て実施した。

(美田自治会にて)

＜平成23年6月＞



多年にわたる環境保全活動が評価され、千葉県知事から「千葉県環境功労者賞」を受賞した。

(千葉県庁舎にて)

## <平成 24 年 7 月>



流山市の委託を受け、市民環境講座を実施した。(5回/年)、7月「夏休み親子でエコ体験&工作教室」を開催した。

(流山市生涯学習センターにて)

## <平成 25 年 6 月>



市民環境講座「利根運河の自然観察と講演」とし、地球温暖化と利根運河の生物多様性について講座を開催した。

(利根運河から森の図書館に向かう)

## <平成 24 年 9 月>



市民環境講座「バスツアーで巡る環境・エネルギー学習会」で、ガスの科学館、パナソニックセンターを見学。

(ガスの科学館にて)

## <平成 25 年 9 月>



まちなか森づくりプロジェクト実行委員として、横浜国立大学名誉教授・宮脇昭先生らと植樹をした。

(下花輪福祉会館にて)

## <平成 24 年 11 月>



流山市の委託を受け、出前講座(10回/年)を実施した。

11月「江戸川台おもと会」(16名)に、節電方法など講演。

(江戸川台福祉会館にて)

## <平成 25 年 11 月>



西初石小学校PTAが主催するバザー(同校校庭)で、環境出前講座を実施した。

(西初石小学校にて)

一般公開の省エネルギー学習会「省エネ市民会議」は、平成 19 年 8 月より毎月開催しています。平成 26 年 2 月 12 日に開催する「FANCL の環境活動&工場見学会」は、79 回目となります。

## 会員募集中

地球温暖化は、現代人の暮らし方が原因(エネルギーの使いすぎ)とされています。もはや科学だけで解決できないところに来ています。子や孫の世代のために、私達と一緒に、私たちが今できることを考え実行しませんか。地球資源の分かち合いは家庭内の小さな工夫から始まるのです。

### 目標

ストップ温暖化!  
地球環境を守るために、市民、企業、行政のパートナーシップで地球温暖化防止を推進する。



## <入会窓口>

・塩幡一二(事務局長) 〒270-0111 江戸川台東 1-289

Tel&fax 04-7152-0966 Mail [ichiji@mocha.ocn.ne.jp](mailto:ichiji@mocha.ocn.ne.jp)

## <年会費>

・正会員=1,000 円 ・協賛会員=1口 1,000 円(口数は無制限)

